



2021年12月28日

各 位

会 社 名 株式会社トレードワークス  
代 表 者 名 代表取締役社長 浅見 勝弘  
(コード: 3997 東証JASDAQ)  
問 合 せ 先 取締役管理本部長 安藤 千年  
(TEL. 03-5259-6611)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において2022年12月期を初年度とする5カ年の中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「中期経営計画2022年～2026年」をご参照ください。

記

1. 計画期間

2022年12月期から2026年12月期までの5カ年

2. 最終年度の業績目標

売上高 6,000百万円

営業利益 795百万円

以上

# 中期経営計画

2022年～2026年

証券コード：3997

株式会社トレードワークス

2021年12月28日

# 経営の基本方針

当社は創業以来、『情報通信技術で社会に貢献およびお客様の繁栄に寄与し、最も信頼されるパートナー』であることを目指して事業に取り組んでおります。

また、「すべてのステークホルダーから信頼され支持される企業」になるために、熱意を持って不断の努力を続けてまいります。当社は、永続的な成長の礎を築くための計画として、2022年12月期を初年度とし、2026年12月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定いたしました。

1. サマリー
2. 各事業の計画
3. 参考情報

# 1. サマリー

2026年12月期目標

2021年12月期

売上高

6,000百万円

2,500百万円(注)

営業利益

795百万円

230百万円(注)

## 次世代金融 への取り組み

従来の金融ソリューション事業で培った資産をベースに、新たな金融テクノロジーへ積極投資

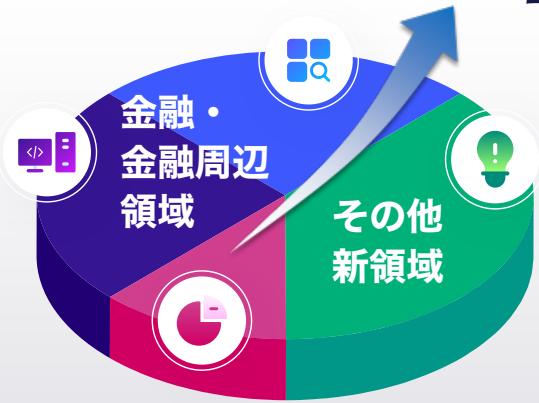
## 新デジタル時代を見据えた金融以外の分野への進出

金融システム開発で培ったコア技術をベースとした非金融領域へのプラットフォーム/ソリューションの新規展開

## テクノロジーファースト型の企業成長

次世代金融・新デジタル時代を見据えた テクノロジー・ファースト型 の企業成長

# 持続的な成長を目指し 2つの戦略を実施



テクノロジーと **金融知識** を  
持ち合わせた専門性の高い集団



主軸領域の深耕と新領域への進出

**事業領域拡大**

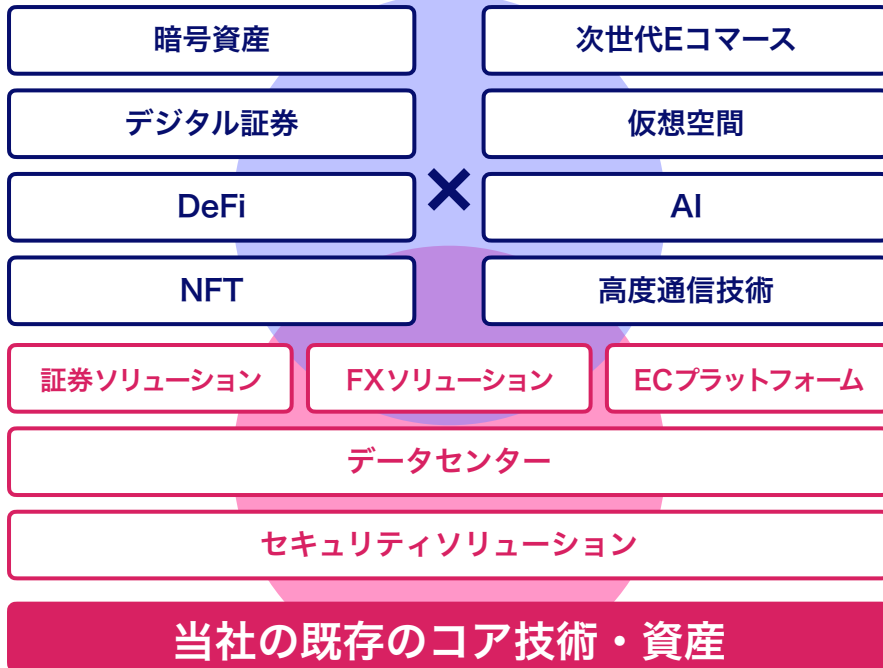
利用型・ストック型ビジネスモデル比率のUP

**ビジネスモデル転換**

2つの戦略を継続して実施し、規模、収益力を拡大

## 次世代金融、新デジタル時代を 見据えたテクノロジー・ファースト型の企業成長

テクノロジーをベースとして  
創生される市場



当社の既存コア技術・資産の継続的な成長  
を図り、当基盤をベースに新領域を開拓

市場における金融/非金融のボーダレス化が  
進む中、当社は両コア技術を深耕

金融/非金融の各々の営業戦略とあわせ、技  
術的シンクロを図りイノベーションを創出

市場におけるテクノロジーの重要性が増す  
中、当社の企業理念であるテクノロジー・  
ファースト型の企業成長を継続



	2019年 (実績)	2020年 (実績)	2021年 (予測)	●● 2026年 (計画)
売上高 (百万円)	1,989	2,110	2,500	6,000
営業利益 (百万円)	124	107	230	795
営業利益率	6.3%	5.1%	9.2%	13.3%
配当性向	18.3%	22.6%	21.1%	20%~25%

## 既存事業におけるストック率の向上

- ストック売上高目標 3,074百万円 (2021年12月期 : 1,400百万円)
- 既存事業におけるストック売上高比率 62.7% (2021年12月期 : 56.0%)

## 新規事業の育成

- 新規事業売上目標 1,100百万円

## 金融知識を有するエンジニアへの継続的な採用

- エンジニア数 210人 (2021年12月期 : 90人)

## 投資方針

- 当社事業の安定的・持続的な成長を実現するため、新規事業を中心にM&Aを含め積極的な投資を行っていきます。
- サステナブルな企業活動を実現するため、SDGs推進に資する分野に投資を行う予定です。

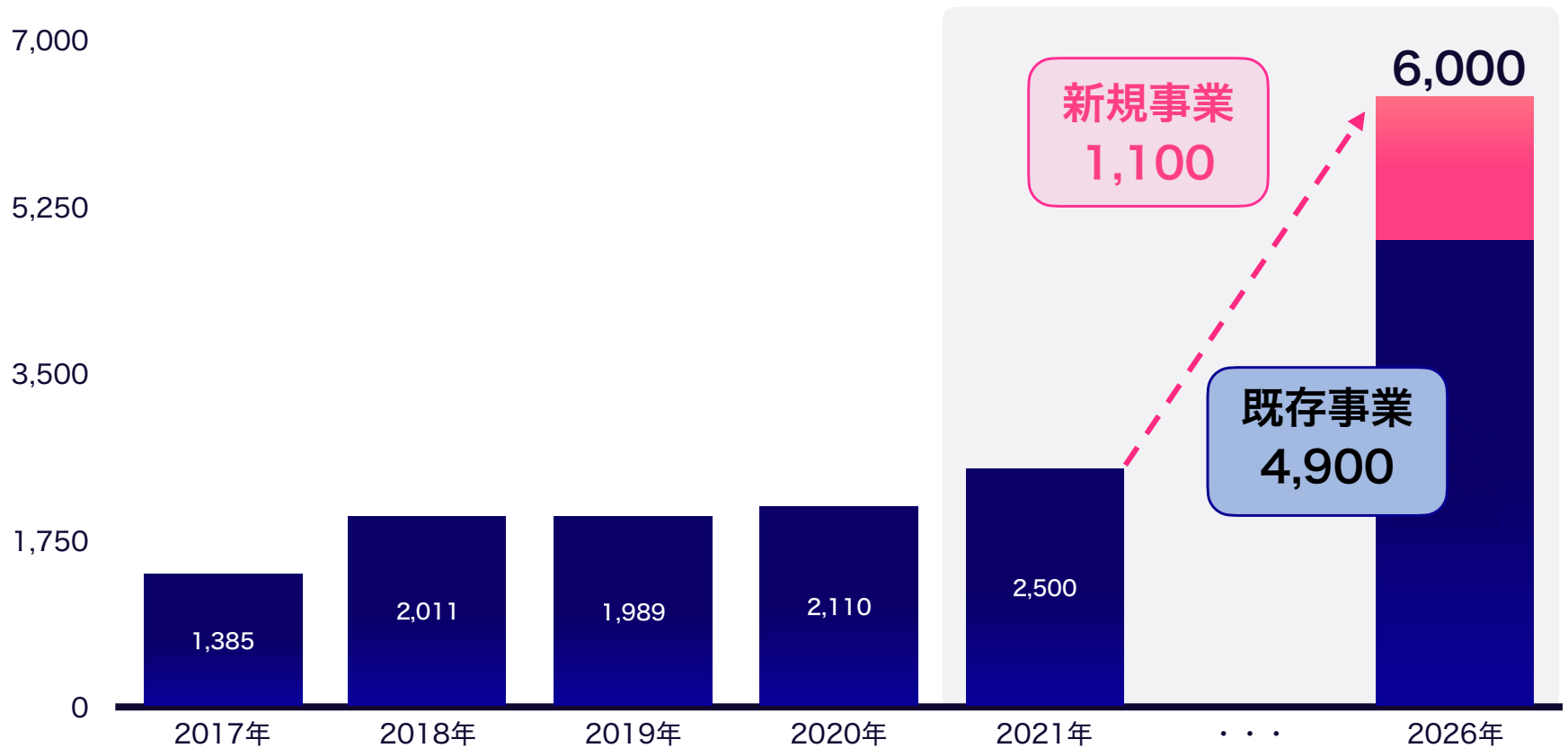
## 株主還元方針

- 現状の配当実績を基礎として、配当性向20～25%程度で継続的な配当実施を目指します。
- 配当に加え、自己株式の取得等の株主還元施策も、必要に応じて検討して参ります。

既存事業の成長 + 新規事業の貢献 → 2026年度 60億円

単位：百万円

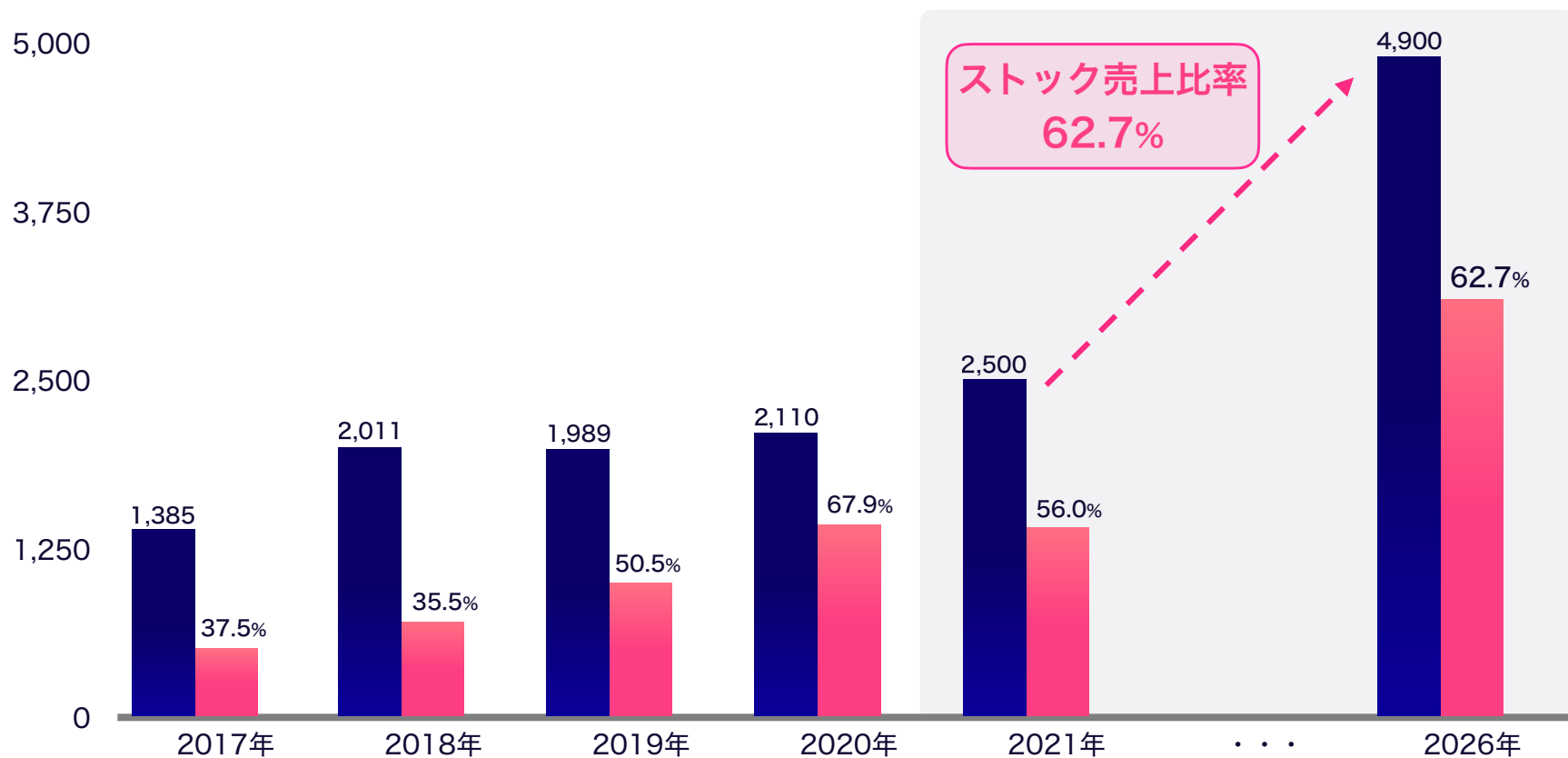
■ 売上高 ■ 新規事業



## 既存事業：ストック売上比率を伸張させながら全体でも成長

単位：百万円

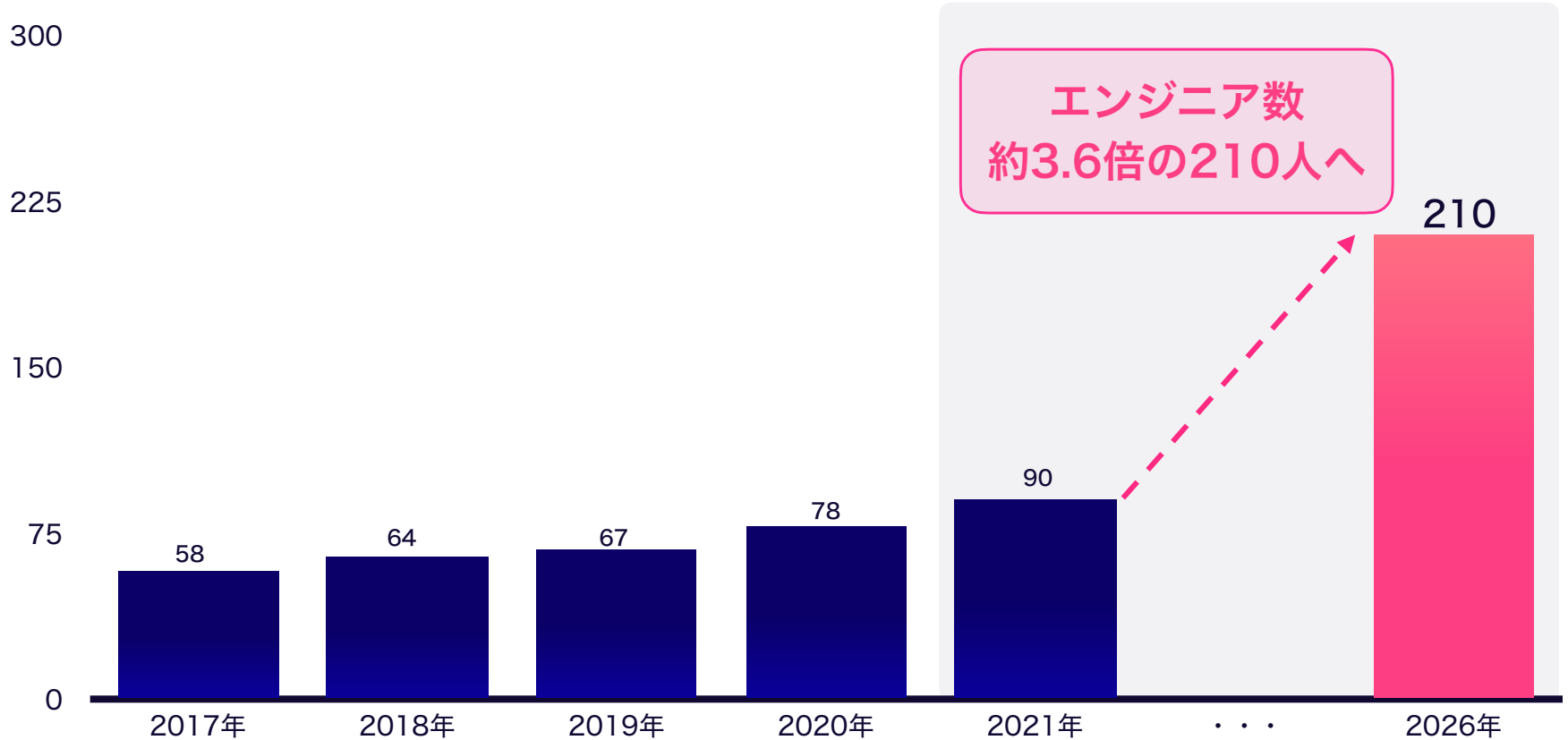
■ 売上高 ■ ストック売上



# 積極的な採用活動によりエンジニア数を約3.6倍の210人へ

単位：人数

■ 人数



## 2. 各事業の計画

Web3.0の本格到来を見据え、**暗号資産、デジタル証券、DeFi、NFT**等の新たなテクノロジーへ積極投資し、次世代金融領域のフロンティア・カンパニーを目指します。

110832	売上高
2026年12月期目標	4,500百万円
2021年12月期	2,303百万円(注)

- 既存ビジネスの深耕を着実にいき、証券インターネット取引システム領域でのシェア拡大を目指します。
- 次世代金融領域である暗号資産、デジタル証券、DeFi、NFT等のソリューション開発、ビジネス開拓を行います。
- 既存ビジネスのシェア拡大、次世代金融領域における新規ユーザ獲得によるストック収益比率の維持・向上とあわせ、データセンター設備や基盤ソフトウェアを最適化し、コスト低減により、収益性を高めます。
- 新仲介やAPIエコノミーの広がりを見据え、当社ASPサービス基盤を拡張し、より接続性の高いプラットフォームに昇格させ、金融事業者様における新たなビジネスモデルの創出・発展に寄与してまいります。



110832	売上高
2026年12月期目標	320百万円
2021年12月期	166百万円(注)

- モデルユーザーに提供したプロトタイプを製品化し他社に横展開してライセンス・保守収入を得ることで、高利益率を維持しつつ成長していくことを目指します。
- モデルユーザーの対象企業数を増加させることで、様々なニーズをすくい上げカスタマイズすることで、製品の高付加価値化を目指します。
- 規模や顧客数を無理に追わず、顧客満足度の向上を優先していきます。

110832	売上高
2026年12月期目標	80百万円
2021年12月期	31百万円(注)

- 単価がリーズナブルな自動診断ツールSecuAliveを案件獲得のフックとし、収益貢献できる手動診断の案件を徐々に伸ばしていくことを目指します。
- 収益の安定化を目指します。

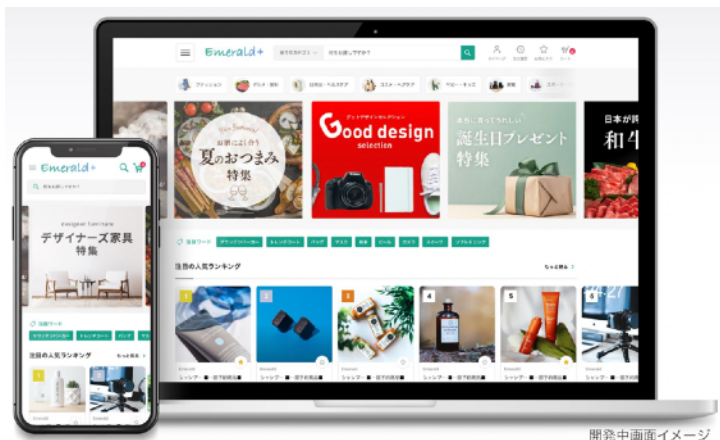
新デジタル時代におけるEコマースの多様化、仮想空間の一般実用化、AIや高度通信技術の発展による様々な変革に寄与すべく、「**次世代のデジタルコマースを創生する**」をミッションとし、金融システム開発で培ったコア技術をベースとしたプラットフォーム/ソリューションの新たなビジネスを展開

110832	売上高
2026年12月期目標	1,100百万円
2021年12月期	— 百万円

- ECプラットフォーム
  - AR/VRコンテンツ
  - その他ソリューション
- 新規独自サービスを運営する事業者との資本・業務提携の関係をより強化し、計画3年目の2024年12月期に黒字転換を目指します。

## クラウドECプラットフォーム 「Emerald Blue」

理想のECサイトをクラウド上で構築が可能、ASPとECパッケージの両方のニーズに対応する



### Emerald Blueの機能

- インターネットによりアクセスするクラウド環境でECサイト構築～運営が可能。
- ECプラットフォームを事業者様で持たず、当プラットフォームをご利用いただくことでサイトオープンを素早く、低コストでのサービス提供が可能。
- 常に最新機能のシステムに自動でアップデートが可能となり、独立ショップ型、ショッピングモール型のどちらにも対応。
- 基本機能に加えて柔軟な機能追加、カスタマイズ、他社パッケージからのデータ移行が可能となり、ECサイトの構築及び運営をワンストップで支援可能。

Emerald Blueの特徴は受注、決済管理、配送、商品管理、動向分析をワンプラットフォームで提供できる点だけではなく同時に機能のAPI化・マイクロサービスとして提供できる点にあります。



## リアル×デジタル体験型店舗 「AZLM CONNECTED CAFE」

リアル×デジタル体験型店舗「AZLM CONNECTED CAFE」とは



### AZLM CONNECTED CAFEとは

「AZLM」とは、「From A to Z, Live Marketing」の頭文字を引用。あらゆる商品をライブでマーケティングできる未来型のCafeを意味しています。

店内では、バリスタによるスペシャルティコーヒーをはじめとしたオリジナルドリンクや軽食の販売に加え、約300点の展示スペースに全国の逸品をディスプレイし、見て触って、試せる機会を提供します。

- メタバースを次世代のデジタル経済圏と捉え、リアル経済圏とメタバース経済圏のマーケットを創造
- 双方向の空間データがサービスを利用していただくユーザーにも企業にも有益な体験やリコメンド
- 2031年を目標にリアル空間となるAZLM CONNECTED CAFEを全国2000店舗、利用者3000万人、メタバース空間には国内外から、日本の素晴らしいコンテンツを体験・買い物など目的で訪れる利用者1億人を目標



# 日本初のオンライン免税ECサービス 「Tax Free Online」

ウィズコロナ・アフターコロナ時代の新しい旅行 ✕ 買い物の形の実現

 <p>いつでも注文できるから、旅行の時間を有効に使ってほしい</p>	 <p>様々な宿泊施設でお土産の受け取りが可能</p>	 <p>免税手続きも、自分のスマホで接触レス</p>
--	--	---

Tax Free **Online.jp**

Tax Free Online.jpは、訪日外国人が免税でお買い物ができる免税店サイト

## 「Tax Free Online」の機能

Tax Free Online.jpは「EC上で免税商品が購入できるプラットフォーム」で、訪日外国人観光客は、旅マエ・旅ナカのいずれでもオンラインで免税商品を購入することができ、旅行中に宿泊施設や空港で商品の受け取りができます。

- 政府は2020年にインバウンド市場に関して、訪日数3000万人以上、消費額8兆円を目標値に設定
  - インバウンドは巨大な成長市場であるものの、免税品の販売や免税手続きに関するIT化が進んでいない
- このような背景から、オンライン免税ECサービスとして、アイエントの特許技術、高いマーケティング力と当社のECプラットフォームの開発力・技術を融合した「Tax Free Online」サービスを立ち上げ。ウィズコロナ・アフターコロナとして、新しい形でのインバウンド市場の回復・成長が必要とされる中、非接触型免税サービスである「Tax Free Online」には多くの需要が期待され、必ず復活する外国人観光客の消費行動の活発化を促し、日本経済に貢献します。

既存サービス・システムや新規事業で得た知見を他事業者へ横展開することで、効率的に収益化を目指していきます。

- AR/VRコンテンツ：VR Trade / 広島銀行向けコンテンツ
- AIコンテンツ：スマート法律相談
- 非金融事業者をターゲットとした金融仲介サービスの開発
- 医療系事業者向け、クラウドファンディング運営会社等の非金融事業者向けシステムの開発

# 3. 参考情報



## 会社概要

会社名	株式会社トレードワークス / TRADE WORKS Co.,Ltd
HP	<a href="http://www.tworks.co.jp/">http://www.tworks.co.jp/</a>
代表者	代表取締役社長 浅見 勝弘
証券コード	3997 (JASDAQ)
設立年月日	1999年1月8日
資本金	311百万円 (2021年12月末現在)
従業員数	105名 (2021年12月末現在)
事業内容	証券、FX分野のフロント・ミドル業務を支援する各種システムの自社開発、ASPサービス提供。非金融事業者向けソリューション提供。

認定ISV・接続実績：東京証券取引所、大阪取引所、東京金融取引所、東京商品取引所

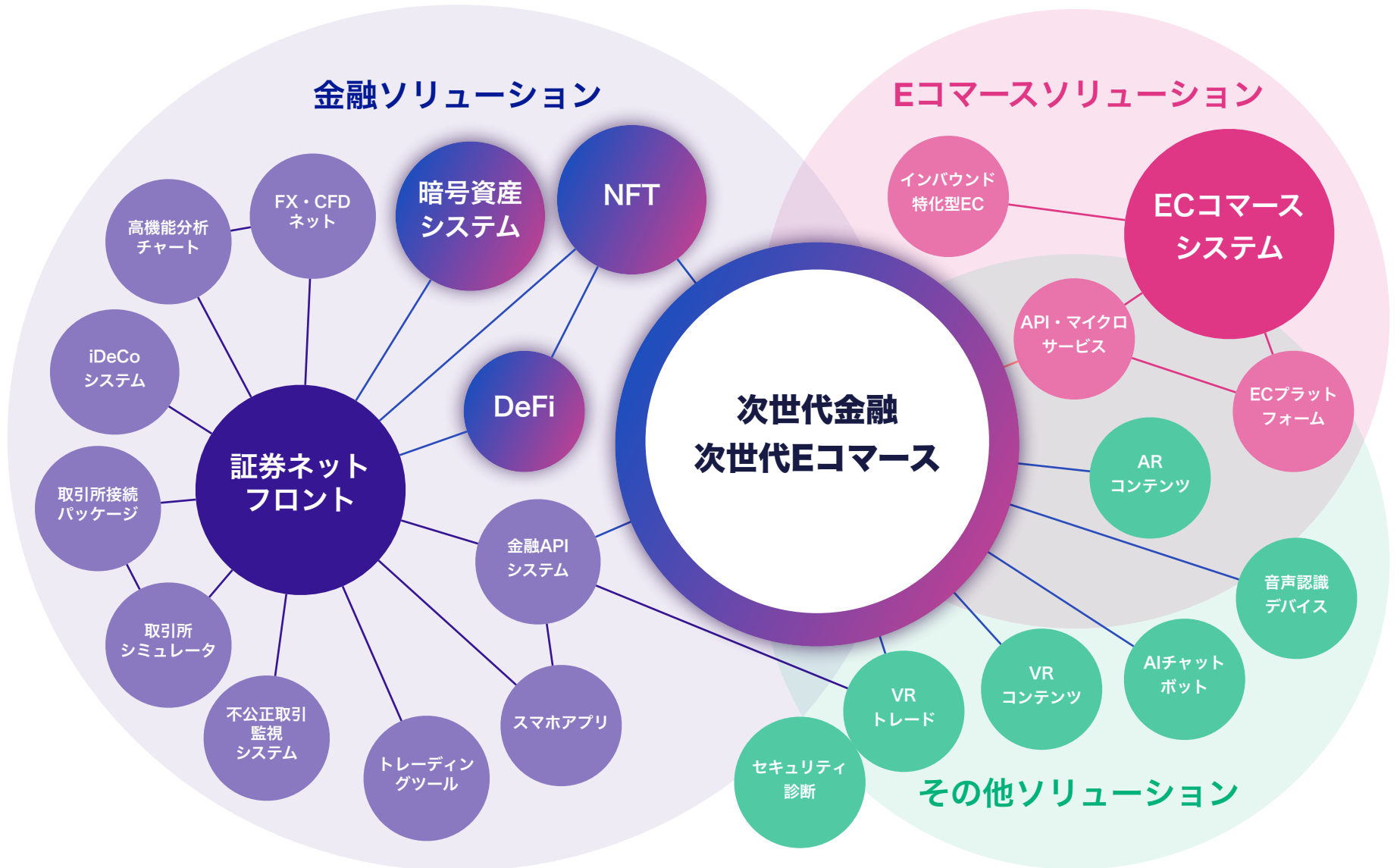
変化の激しい証券、FX、CX業界のお客様に

「正確に」「素早く」「便利に」

働くシステムを最高の技術で提供するITソリューションプロバイダです

- 「エンドユーザーの視点に立って、高い信頼性と安全性を備えたシステムの構築を目指し、金融資本市場の発展と豊かな社会の実現に貢献する」ことを指針とし、金融ソリューション事業、FXシステム事業及びセキュリティ診断事業を展開しております。
- 証券システムの開発には、証券取引に精通した深い知識やプロジェクト実績、高い信頼性など多くの要素が求められ、また、技術革新のスピードも速く、新技術によるサービスの導入が増加しております。そのため、当社では、1999年1月の設立以来、「トップクラスの専門エンジニア集団を作る」という理念を掲げ、証券業界に精通したエンジニアの育成を行っております。

## 【ソリューション領域】



当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社トレードワークス

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105

神保町三井ビルディング9F

TEL :03-5259-6611 FAX:03-5259-6612

<https://www.tworks.co.jp/>